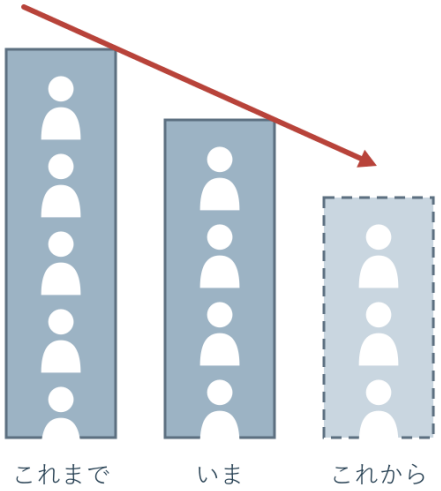
人手不足とAI・ロボット（支えと課題）

働き手が足りなくなる中で、AIやロボットはどう役立ち、何が課題なのだろう

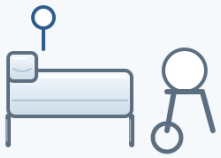
働く世代の人口（模式）



人口が減り、働き手が足りなくなる

働き手が足りない現場と、AI・ロボットの支え（例）

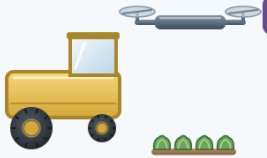
介護



AI 見守りのセンサー（様子を知らせる）

ベッドから車いすへの移乗を助ける機械

農業



AI 自動で進むトラクター

野菜を収穫する機械

ドローンで畑の様子を見る

ほかにも、いろいろな仕事で使われ始めている

考えたい課題

費用

機械を買う・保守する
お金がかかる

使いこなす人

使い方を覚える人、
教える人が必要

安全と責任

事故が起きないように。
起きたときの責任は

人にしかできない仕事

相手の気持ちをくむ、
その場で判断する

作業の一部をAI・ロボットにまかせ、人と分担して、仕事の負担を減らす

※ 人口の帯は模式。支えの例は、厚生労働省と農林水産省の資料をもとにした。